



日本被団協にノーベル平和賞！！

10月11日、ノルウェー・ノーベル賞委員会は、今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に授与すると発表。長年の地道な活動で、被爆の実態を世界に知らせ、核兵器の非人道性を明らかにし、核タブーを打ち破り、核兵器禁止条約の発効への大きなうねりを作り出してきた活動が認められたものです。

受賞から一夜明けた12日、被団協は記者会見を開き、代表委員の田中照巳さん(92才)は、石破首相が自民党総裁選で言及した「核共有」に対し、「論外。政治のトップが必要だと言っていること自体で怒り心頭」と厳しく批判しました。

石破首相は党首討論の中で「ミサイル防衛のためシェルターを造る」と言っていますが、こんなことで国民の命と安全が守れると考えているのでしょうか。

日本は唯一の戦争被爆国として、一刻も早く核兵器禁止条約の批准を。

(代田5丁目・小澤 清子)

「この総裁にしてこの代表あり」、国民の賢明さが問われる総選挙へ

9・27 自民党総裁選 — 高市早苗氏でなく石破茂氏が選ばれたことが「奇跡の逆転」?! ハンバーガーを注文したら、タワシでなくハンバーガーが出されたことを「奇蹟!」と喜ぶべき国に、日本はなってしまったようです。

とはいえ最悪の事態は避けられたと、胸をなでおろしかけた手がアバラ骨の3本目で止まりました。石破氏は総裁になったとたん、まさにありとあらゆる(なのでいちいち挙げません)信念・主張・前言・ボヤキをあっさり引っ込め、ひっくり返した。そして常々批判していた「7条解散」を強行したのです。

われらが9条より前に置かれたこの憲法7条とは、天皇の国事行為に関する規定。そこに、天皇が「内閣の助言と承認により」行う10項目のひとつとして「衆議院を解散すること」とあります。これを歴代首相は、「内閣は天皇に一言いいさえすれば好きなときに衆議院を解散してよい」と超絶屁理屈解釈し、「解散権」なるどの法律にも書かれていない権限を乱用してきたわけです。でも、まさか石破氏までとは!!

なお、裏金議員の公認問題については、返した手のひらをまた伏せて、岸田前首相よりは聞く力があるかに思わせていますが、再調査をせずウヤムヤに済ますための言い訳づくりがミエミエです。

さて、この石破自民を総選挙で迎え撃つ立民の代表には、悪夢の「ノダダノエダノダノ」の一角・野田氏が選ばれてしまいました。野党共闘はうまくまとまりそうになく、私たち有権者が賢く票を読み、自・公与党候補を「落とせる」人を見極めるほかなさそうですね。

(梅丘1丁目・真藤 一彦)



10月27日は衆議院議員選挙の投票日
憲法を守り、活かす議員を当選させるため、
投票に行きましょう

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめてみましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

鹿島海軍航空隊跡を見学してきました

鹿島海軍航空隊跡は霞ヶ浦の南側湖岸の夏草が生い茂る広大な敷地にありました。この部隊は 1938 年に発足し日本海軍の水上飛行機部隊の訓練施設として終戦まで運用されていました。戦況が悪化した大戦末期には、ここで育てられた若者が特攻として沖縄へ飛び立って行きました。

跡地に現存する本庁舎は展示室になっていましたが、終戦後には東京医科歯科大の分院として 1997 年まで地域の医療を支えていました。

自動車車庫、ボイラー室、自力発電所などは劣化しているものの形は成していました。そのほか、宿舎や炊事場、浴室、トイレなどは土台のみが草むらの中にあり、空襲があったのではと思うほど廃墟と化していてその劣化ぶりには驚きました。しかし当時の様子うかがうことができました。残念だったのは湖に張り出した滑走台を見られなかったことです。

地元的美浦村では多くの人に見てもらうためにプロジェクトを組んでいろいろ策を練っているようです。このような戦跡がいつまでも保存され戦争と平和について考えるきっかけになることを願っています。

(代田 5 丁目・日暮恵子)



集 会 等 の 紹 介

11月1日(金) 18:30~ **生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会学習会**

講演：浜 矩子さん (同志社大学名誉教授)

場所：三茶チャレナード (三軒茶屋駅下車)

主催：生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会

11月9日(土) 13:30~ **世田谷・九条の会 19周年のつどい**

講演：「経済政策はだれのため、何のため？」

～本当の経済安全保障を目指して～

浜 矩子さん (同志社大学名誉教授)

場所：砧区民会館会議室 (成城学園駅)

主催：世田谷・九条の会

11月18日(月) 18:30~ **九条の会事務局主催 学習会**

石破政権の『戦争する国』づくり改憲」と対決する

報告1 「石破政権における改憲・軍拡政策の新局面と私たちの課題」

渡辺 治さん (一橋大学名誉教授)

報告2 「石破『戦争する国』づくり改憲の危険な憲法論と安全保障観」

小澤 隆一さん (東京慈恵会医科大学名誉教授)

場所：文京区民センター 3-A会議室 (地下鉄・後楽園駅)

主催：九条の会

11月23日(土) 13:30~ **代田・九条の会 16周年のつどい**

お話：「史実と体験から“戦争だけは駄目”の思いを」

川嶋 みどりさん

(日本赤十字看護大学名誉教授・健和会臨床看護学研究所所長)

場所：東京都民教会 (代田 5-35-2)

主催：代田・九条の会